

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 1 区分

【発行日】平成23年12月15日 (2011.12.15)

【公開番号】特開2009-136861(P2009-136861A)

【公開日】平成21年6月25日 (2009.6.25)

【年通号数】公開・登録公報2009-025

【出願番号】特願2008-280664(P2008-280664)

【国際特許分類】

B 0 5 B 5/025 (2006.01)

B 0 5 B 12/08 (2006.01)

B 0 5 D 1/02 (2006.01)

B 0 5 D 3/00 (2006.01)

【F I】

B 0 5 B 5/025 A

B 0 5 B 12/08

B 0 5 D 1/02 Z

B 0 5 D 3/00 D

【手続補正書】

【提出日】平成23年10月27日 (2011.10.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

コーティング材料スプレーガン（10）であって、
塗装動作中に操作者が片手で把持するハンドル（16）と、
前記ハンドル（16）上に取り付けられ、塗装動作を開始及び停止させるために前記片手によって作動される第1の引き金（32）と、
前記ハンドル（16）上に取り付けられ、塗装動作パラメータの値を変更するために前記片手によって作動される第2の引き金（70）と、
を備えるコーティング材料スプレーガン。

【請求項 2】

前記第2の引き金（70）は、中立位置、第1の作動位置、及び第2の作動位置を有する請求項1に記載のスプレーガン。

【請求項 3】

前記第2の引き金（70）は、前記第1の作動位置へ一方向に枢動することができると共に、前記第2の作動位置へ反対方向に枢動することができる請求項2に記載のスプレーガン。

【請求項 4】

前記第2の引き金（70）は、前記スプレーガンを通るコーティング材料の流量を増減させるのに使用される請求項1に記載のスプレーガン。

【請求項 5】

前記第2の引き金（70）は、前記第1の作動位置へ移動させられると、前記スプレーガンを通るコーティング材料の流量を増やし、前記第2の作動位置へ移動させられると、前記スプレーガンを通る前記コーティング材料の流量を減らす請求項2に記載のスプレーガン。

【請求項 6】

コーティング材料スプレーガン（１０）であって、
塗装動作中に操作者が片手で把持するハンドル（１６）と、
前記ハンドル（１６）上に取り付けられ、塗装動作を開始及び停止させるために前記片手によって操作される第１の引き金（３２）と、
前記ハンドル（１６）上に取り付けられ、１つ又は複数の塗装動作パラメータ値を選択するために前記片手によって操作される第２の引き金（７０）と、
を備えるコーティング材料スプレーガン。

【請求項 7】

前記第２の引き金（７０）は、中立位置、第１の作動位置、及び第２の作動位置を有する請求項 6 に記載のスプレーガン。

【請求項 8】

前記第２の引き金（７０）は、前記第１の作動位置へ一方向に枢動することができると共に、前記第２の作動位置へ反対方向に枢動することができる請求項 7 に記載のスプレーガン。

【請求項 9】

コーティングパラメータ値の２以上の組がディスプレイ（１００）上に表示され、前記第２の引き金（７０）は、コーティング材料パラメータ値の前記２以上の組のうちの一つを選択するように作動することができる請求項 6 に記載のスプレーガン。

【請求項 10】

前記第２の引き金（７０）は、表示されているコーティング材料パラメータ値の前記２以上の組をスクロールするように作動して、コーティング材料パラメータ値の前記２以上の組のうちの一つを選択することができる請求項 9 に記載のスプレーガン。

【請求項 11】

前記第２の引き金（７０）は、中立位置、第１の作動位置、及び第２の作動位置を有し、且つ、表示されているコーティング材料パラメータ値の前記２以上の組を第１の方向にスクロールするように、前記第１の作動位置に移動することができると共に、表示されているコーティング材料パラメータ値の前記２以上の組を前記第１の方向とは反対の第２の方向にスクロールするように、前記第２の作動位置に移動することができる請求項 10 に記載のスプレーガン。

【請求項 12】

コーティング材料スプレーガン（１０）であって、
塗装動作中に操作者が片手で把持するハンドル（１６）と、
前記ハンドル（１６）上に取り付けられ、塗装動作を開始及び停止させるために前記片手によって操作される第１の引き金（３２）と、
前記ハンドル（１６）上に取り付けられ、中立位置、第１の作動位置、及び第２の作動位置を有する第２の引き金（７０）と、
を備えるコーティング材料スプレーガン。

【請求項 13】

前記第２の引き金（７０）は、塗装動作パラメータの値を変更するために、前記中立位置、前記第１の作動位置、及び前記第２の作動位置の間を移動することができる請求項 12 に記載のスプレーガン。

【請求項 14】

前記第２の引き金（７０）は、一つ又は複数の塗装動作パラメータ値を選択するために、前記中立位置、前記第１の作動位置、及び前記第２の作動位置の間を移動することができる請求項 12 に記載のスプレーガン。

【請求項 15】

コーティング材料スプレーガン（１０）であって、
塗装動作中に操作者が片手で把持するハンドル（１６）と、
前記ハンドル（１６）上に取り付けられた引き金（３２）と、

前記引き金（３２）上に取り付けられ、前記引き金（３２）が操作されたときにスイッチ（８０）に係合する圧縮性部材（７５）と、
を備えるコーティング材料スプレーガン。

【請求項１６】

前記引き金（３２）は、本体（７２）と、該本体（７２）から延在している２つの可撓性アーム（７４）とを備え、操作者が前記引き金（３２）を解放したときに、該可撓性アーム（７４）は、前記本体（７２）を非作動位置へ戻す請求項１５に記載のスプレーガン。

【請求項１７】

前記可撓性アーム（７４）のそれぞれは、前記アーム（７４）の他方が破損したときに、前記本体（７２）を非作動位置へ移動させることができる請求項１６に記載のスプレーガン。

【請求項１８】

コーティング材料スプレーガン（１０）であって、
塗装動作中に操作者が片手で把持するハンドル（１６）と、
前記ハンドル（１６）上に取り付けられた引き金（３２）と、
を備え、
前記引き金（３２）は、本体（７２）と、該本体（７２）から延在している２つの可撓性アーム（７４）とを有しており、操作者が前記引き金（３２）を解放したときに、該可撓性アーム（７４）は、前記本体（７２）を非作動位置へ戻すコーティング材料スプレーガン。

【請求項１９】

前記可撓性アーム（７４）のそれぞれは、前記アーム（７４）の他方が破損したときに、前記本体（７２）を非作動位置へ移動させることができる請求項１８に記載のスプレーガン。

【請求項２０】

前記引き金（３２）上に取り付けられ、前記引き金（３２）が操作されたときにスイッチ（８０）に係合する圧縮性部材（７５）をさらに備える請求項１８に記載のスプレーガン。

【請求項２１】

スプレーガン（１０）の塗装動作を制御する方法であって、
塗装動作中に前記スプレーガン（１０）のハンドル（１６）を手で保持する工程と、
前記スプレーガンからのコーティング材料の流れの開始及び停止を制御する信号を生成するために、前記ハンドル（１６）上に取り付けられている引き金（３２）を手動で作動させる工程と、
塗装動作パラメータの値を変更する信号を生成するために、前記ハンドル（１６）上に取り付けられている第２の引き金（７０）を手動で作動させる工程と、
を含む方法。

【請求項２２】

前記第２の引き金（７０）は、中立位置、第１の作動位置、及び第２の作動位置を有し、前記第２の引き金（７０）を手動で作動させる前記工程において、前記第２の引き金（７０）が前記第１の作動位置へ移動させられると、前記塗装動作パラメータの値を増やし、前記第２の引き金（７０）が前記第２の作動位置へ移動させられると、前記塗装動作パラメータの値を減らす請求項２１に記載の方法。

【請求項２３】

前記第２の引き金（７０）を手動で作動させる前記工程において、前記第２の引き金（７０）が前記第１の作動位置へ移動させられると、前記スプレーガン（１０）を通るコーティング材料の流れを増やし、前記第２の引き金（７０）が前記第２の作動位置へ移動させられると、前記スプレーガン（１０）を通るコーティング材料の流れを減らす請求項２２に記載の方法。

【請求項 24】

スプレーガン(10)の塗装動作を制御する方法であって、
塗装動作中に前記スプレーガン(10)のハンドル(16)を手で保持する工程と、
前記スプレーガンからのコーティング材料の流れの開始及び停止を制御する信号を生成するために、前記ハンドル(16)上に取り付けられている引き金(32)を手動で作動させる工程と、

少なくとも1つの塗装動作パラメータ値を選択する信号を生成するために、前記ハンドル(16)上に取り付けられている第2の引き金(70)を手動で作動させる工程と、
を含む方法。

【請求項 25】

前記第2の引き金(70)は、中立位置、第1の作動位置、及び第2の作動位置を有し、
前記方法は、コーティング材料パラメータ値の2以上の組を表示する工程をさらに含み、
前記第2の引き金(70)を手動で作動させる工程において、該第2の引き金(70)が前記第1の作動位置へ移動させられると、表示されているコーティング材料パラメータ値の前記2以上の組を第1の方向にスクロールし、該第2の引き金(70)が前記第2の作動位置へ移動させられると、表示されているコーティング材料パラメータ値の前記2以上の組を前記第1の方向と反対の第2の方向にスクロールする請求項24に記載の方法。